

平成25年9月市議会定例会

一 般 質 問 通 告 書

(通告者11名)

順位	質問事項	質問の要旨	答 弁 を 求める者	備 考
1	<p>1 市民の生活環境について</p> <p>2 教育問題について</p> <p>3 県道管理問題について</p>	<p style="text-align: center;">13番 郷内 良治</p> <p>(1)市民から狹隘道路等による陳情、請願が出ている道路整備箇所の進捗状況を伺う。 (2)狹隘道路整備全線完了までどのような計画で進めるのか。 (3)道路整備等を目的に一般会計予算総額の1%を新たな枠として予算確保を図るべきと考えるがどうか。</p> <p>(1)公立幼稚園のあり方を含めた基本的な考え方は。 (2)愛島・高館・下増田地区に早急に児童センターを建設すべきと考えるが、整備計画を伺う。 (3)愛島小学校の校庭が狭くなり、子供たちは伸び伸びと遊ぶことができない状況にあるが、その対策について伺う。</p> <p>(1)県道愛島名取線ののり面の草刈りを実施するよう強力に県に申し入れをすべきと考えるがどうか。</p>	<p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長 教育長 市 長</p> <p>市 長 教育長</p> <p>市 長</p>	
2	<p>1 高齢者介護の充実について</p> <p>2 いじめと「学校の荒れ」のない学校と地域づくりについて</p>	<p style="text-align: center;">6番 大沼 宗彦</p> <p>(1)増加する利用者の状況を踏まえ、市としての介護施設の拡充を支援すべき。 (2)在宅介護のきめ細かい拡充策を進めるべき。</p> <p>(1)いじめと暴力ゼロの学校のために、学校と地域の協力体制を確立すべき。 (2)児童・生徒が利用する携帯電話、パソコンなどの使用実態をどのように捉えているのか。 (3)児童会、生徒会の自主能力を高めるため、学校と地域全体での支援体制を進めるべき。 (4)教職員がゆとりを持って教育活動を進められるように、諸会議、部活動などがゼロの日を設けるべき。 (5)行き届いた教育を進められるよう、35人以下学級の実現に努力すべき。</p>	<p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>教育長</p> <p>教育長</p> <p>教育長</p> <p>教育長</p> <p>市 長 教育長</p>	
3	<p>1 愛島台造成緑地の土地利用計画の変更保留について</p> <p>2 復興工事関連車両増加に対する生活環境対策について</p>	<p style="text-align: center;">8番 長南 良彦</p> <p>(1)用途変更調査結果を踏まえ保留に至った経緯の詳細と今後の方針について伺う。 (2)市民が市内の職場で働ける環境の創出を図るべく職住近接型のまちづくりを実現すべき。</p> <p>(1)高館地区等への工事関連車両増加による騒音、振動、粉じん等の環境対策を早急を実施すべき。 (2)今後の復興計画工事に備え地域住民、学校等との懇談会を積極的に開催し、地域に即応した安全対策、環境対策に努めるべき。</p>	<p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p>	

順位	質問事項	質問の要旨	答弁を 求める者	備考
4	1 確かな学力の向上について	9番 山田 司郎 (1)全国学力テストの結果など、本市の学力の実態をどう捉えているのか。確かな学力向上のため市教委の指導力を発揮すべき。 (2)学校における学習支援強化を図るため、大学との官学連携を深めるべき。 (3)教員経験者を学習支援ボランティアとして活用してはどうか。 (4)まなウェルみやぎにある宮城県総合教育センターを積極的に活用するよう各学校に奨励すべき。 (5)教育センターで長期研修中の教員による授業研究の場として市内の小中学校を提供してはどうか。	教育長 市長 教育長 市長 教育長 教育長	
5	1 海岸防災林の再生について 2 内陸防風林について	3番 小野 泰弘 (1)民有林植栽計画は怎么样了なのか。 (2)地域住民、地域の緑化団体、NPOや企業等の参画による植栽を積極的に進めるべき。 (3)民間団体等と継続的に連携し、植栽後の苗木を守るための維持管理体制を確立すべき。 (1)貞山運河災害復旧事業により消失する防風林を再生すべき。 (2)農業の振興を図り、大区画圃場を守るため内陸防風林を整備すべき。	市長 市長 市長 市長 市長	
6	1 学童保育について 2 教育連携について	2番 大友 康信 (1)「小1の壁」について、現状での課題とその対応の強化や展望を伺う。 (1)児童センターでの補習授業または放課後教育など、学力向上と子育て支援の連携を強化すべきと考えるがどうか。	市長 市長 教育長	
7	1 集中豪雨への対応について 2 消防行政について	15番 山口 實 (1)全国各地で豪雨等による重大な災害が発生している。名取川・増田川の一級河川を有する本市のゲリラ豪雨への対応と土砂災害予防の点検状況を伺う。 (2)気象庁は、新たに特別警報の運用を平成25年8月30日より開始した。それに伴い、各自治体は住民への伝達措置が義務化されるが本市の取り組みはどうか。 (3)被害を最小限に抑えるために、市域全体のマニュアルと危険箇所を特定したマニュアルを区別して作成し、生活の安全に備えるべき。 (1)平成22年度から各分団1台配備計画のある救助資機材搭載型小型動力ポンプ付積載車は、高度な技術を要し消防団には負担が大きいことから、配備計画を見直すべき。	市長 市長 市長 消防長	

順位	質問事項	質問の要旨	答 弁 を 求める者	備 考
		(2) 6分団37部に小型動力ポンプ積載車が配備され10年余りが経過し、防災機能が充実強化されたが、部のあり方をどのように考えているのか。 (3) 消防団の組織配置は名取町以前のもので、現在は人口や地勢が大きく変貌している。組織の再編、再配置を実施すべきと考えるがどうか。	市 長 消防長 市 長 消防長	
8	1 市民福祉の向上について 2 がん検診について 3 学校現場での対応について	10番 菊地 忍 (1) 在宅ねたきり老人等紙おむつ支給事業の支給対象は同居の家族となっている。必要とする本人への支給に改めるべきと考えるがどうか。 (2) 婚姻歴のない母子家庭等に対しても母子及び寡婦福祉法の規定を適用し、保育料の徴収基準額を算定すべきと考えるがどうか。 (1) 胃がんはピロリ菌による感染由来のがんで、ピロリ菌を除菌することで胃がんの発生を3分の1に減らせると言われている。そこで、ピロリ菌感染の有無と胃粘膜萎縮の程度を測定する胃がんリスク検診を実施する自治体がふえているが、本市でも実施すべきと考えるがどうか。 (2) 大腸がん検診について、本市では検体を公民館か保健センターへ提出しなければならない。利便性向上のために冬期の郵送方式も取り入れるべきと考えるがどうか。 (1) 群馬県渋川市では「子ども安心カード」を作成し、急病等が発生した場合に救急隊への情報提供に活用している。本市でも導入すべきと考えるがどうか。 (2) 学校基本調査によれば、平成24年度中に県内中学校で不登校になった生徒の割合が3.08%と全国最多であった。東日本大震災の影響とされているが、心のケアや訪問指導員の拡充など対策を図るべきと考えるがどうか。	市 長 市 長 市 長 教育長 消防長 教育長	
9	1 小中学校の学校防災体制について 2 シティセールスの取り組みについて	5番 及川 秀一 (1) 防災全体計画と整備点検の進捗状況について伺う。 (2) 今後の災害発生時の学校災害の対策本部の設置体制をどう考えているのか。 (3) 防災教育等の実施の考え方について伺う。 (4) 地域と連携した防災及び避難訓練の充実を図るべき。 (1) 平成25年度重点事業5項目の状況を伺う。 (2) 県内外に向けた観光情報の発信について伺う。 (3) 観光資源確立の具体策をどう考えているのか。 (4) ブランディング（商品・サービスの購買促進活動等）戦略を展開すべき。	教育長 教育長 教育長 市 長 教育長 市 長 市 長 市 長	

順位	質問事項	質問の要旨	答 弁 を 求める者	備 考
1 0	1 被災者の生活を支える施策について 2 情報リテラシー教育について	1 2 番 小野寺美穂 (1)仕事を失い、高齢化も進む中、収入の道が閉ざされ日々の生活が成り立たなくなっている。救済策を講じるべき。 (1)青少年のインターネット・リテラシー指標や新学習指導要領などでも取り上げられている教育についての取り組みは。 (2)子供たちが犯罪に巻き込まれないための対策を講じるべき。	市 長 教育長 教育長	
1 1	1 交通安全対策について 2 子育て支援について 3 被災者支援について	1 8 番 星居 敬子 (1)命を守る対策として、自転車利用の立場から、子供、若者、高齢者の交通安全指導を行うべきと考えるがどうか。 (2)自転車事故に備えた各種保険への加入について啓蒙・啓発が必要と考えるがどうか。 (3)子育て世代を支え、交通安全につながる3人乗り自転車の購入に助成を考えてはどうか。 (4)高齢者の事故を減らすことから、運転免許証自主返納へつながる支援事業を実施すべき。 (1)待機児童解消加速化プランの計画を厚生労働省に出しているが、提出に当たっての検討内容と結果に至った議論の内容について伺う。 (2)加速化プランによって2年間でどのような形でどのくらいの待機児童解消が図られるのか。 (3)子ども・子育て支援新制度の準備はどこまで進んでいるのか。加速化プランとの関係はどのようなになるのか。 (1)応急仮設住宅での生活が長くなるが、生活者の声を聞いて生活環境の改善等を行うべきではないか。	市 長 教育長 市 長 市 長 市 長 市 長 市 長 市 長	